

2017年3月期 決算説明会資料

～中計「New Challenge 2016」の総括と新中期経営計画について～

稲畑産業株式会社

代表取締役社長 稲畑 勝太郎

2017年 5月31日

- 1. 会社概要 … p 3**
- 2. 「New Challenge 2016」 総括 … p 5**
- 3. 新中期経営計画について … p11**

稲畑産業とは、



稲畑染料店（京都・西陣）

1. 創業1890年

1890年 京都において、稲畑染料店として発足
その後、ケミカル分野を中心に事業を拡大

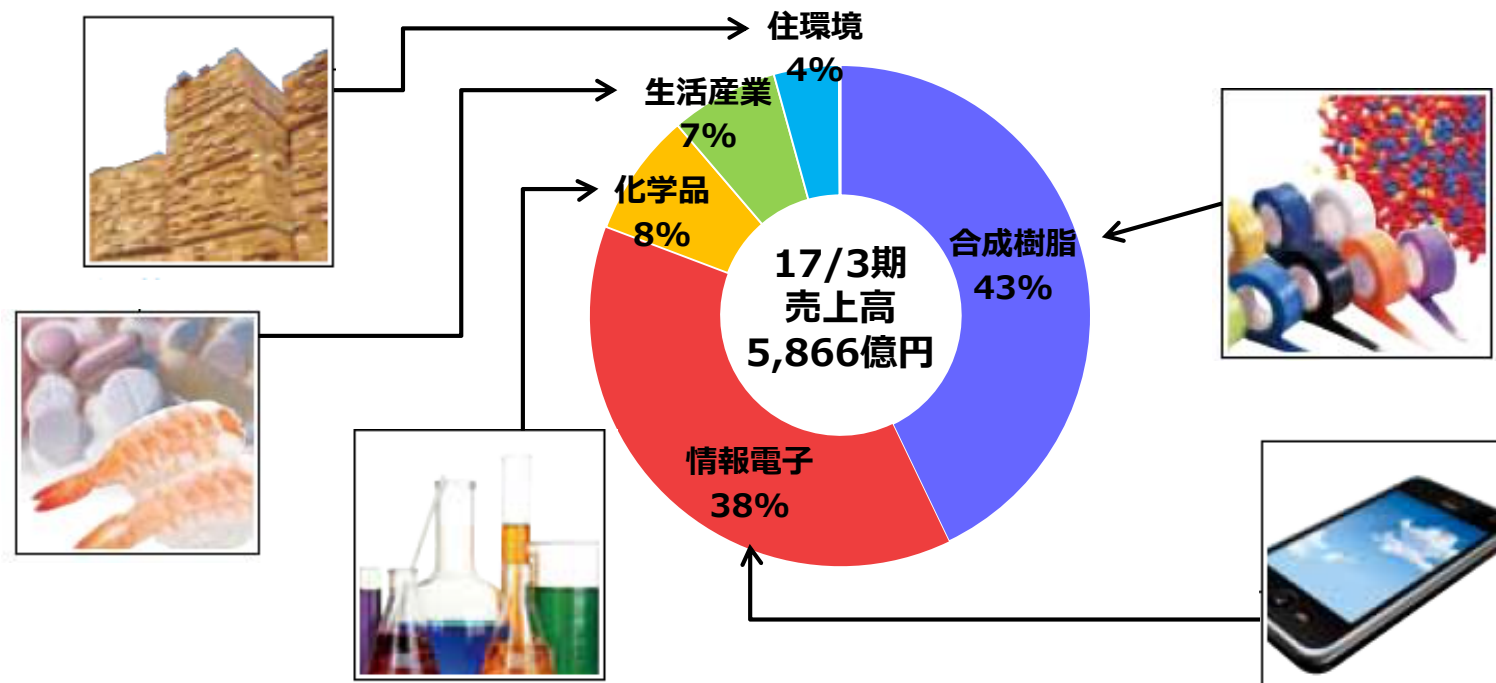
2. グローバルに複合展開する商社

世界18カ国に約60拠点を展開
市場開発、製造加工、物流、ファイナンス等の機能
商品やマーケットの専門知識・ノウハウに基づく企画・提案



3. 5つの事業分野

情報電子、化学品、生活産業、合成樹脂、住環境の5つの分野で事業を展開



■ 「New Challenge 2016」 総括

「New Challenge 2016」 総括

定量目標の達成状況



【定量目標】

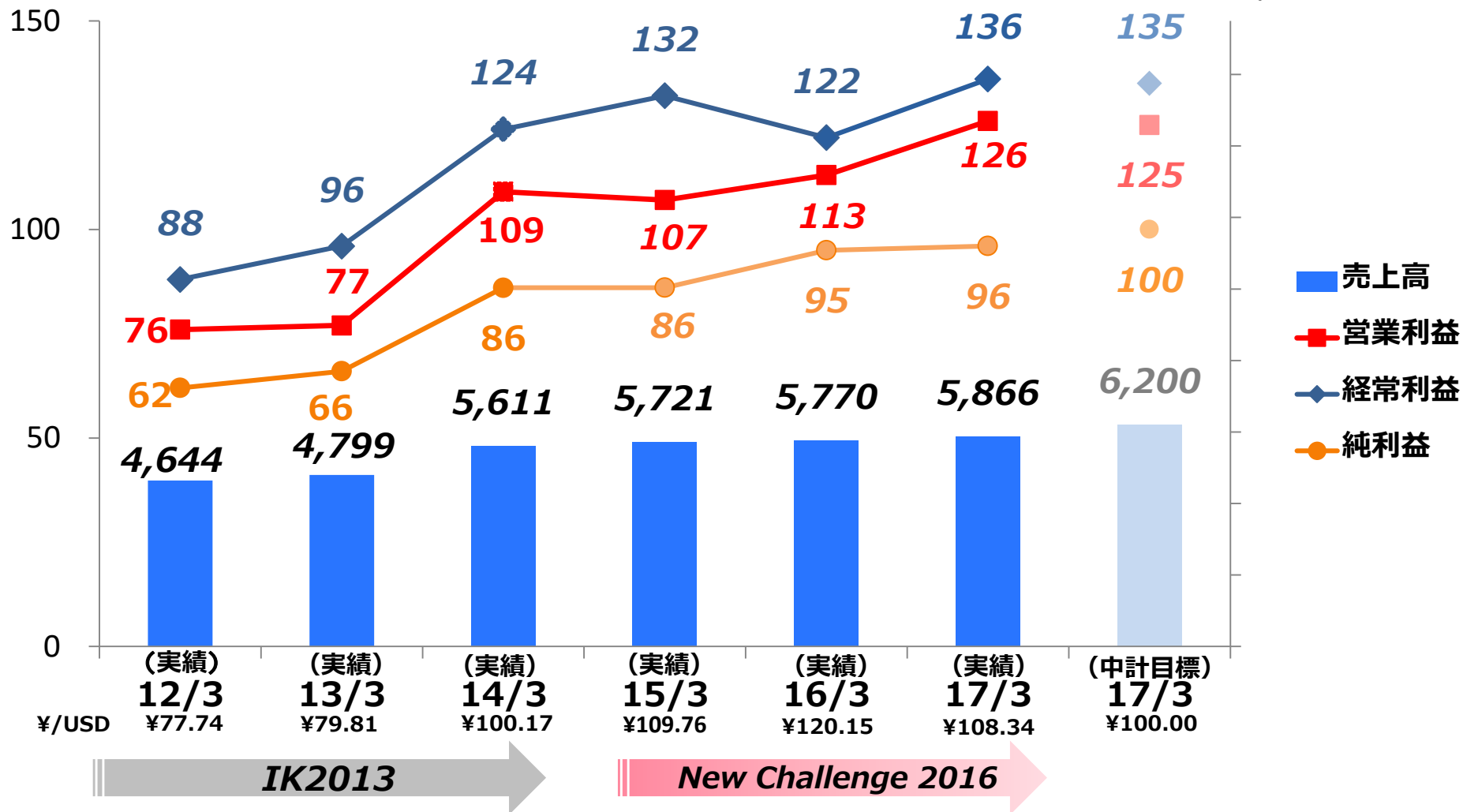
	中計目標値 2017年3月期		実績 2017年3月期	差異	達成率
売上高	6,200億円		5,866億円	▲333億円	94.6%
営業利益	125億円		126億円	+1億円	100.9%
経常利益	135億円		136億円	+1億円	101.3%
当期純利益	100億円		96億円	▲3億円	96.9%
ROE	8.2%		7.1%		未達
社D/Eレシオ	0.45		0.30		達成
自己資本比率	38.0%		43.0%		達成
為替レート	USD1=100円		USD1=108.34円		

「New Challenge 2016」 総括 定量目標の推移



(利益 億円)

(売上高 億円)



【重点施策】

重点施策	評価	コメント
1. 海外事業の更なる拡大と深化		
・中核であるアジア事業の更なる拡大と深化	△	特に中国において進捗、東南アジアは想定に届かず
・アジア以外の新興国への取り組みの拡大	×	ブラジル、トルコなどで拠点設立するも、具体的な進展なし
・非日系企業との取引拡大	△	中国において拡大、東南アジアでも欧米企業との取引拡大
2. 成長が見込める市場・未開拓分野への注力		
・自動車分野	○	ほぼ想定の進捗、グローバルユーザー向け伸びる
・環境・エネルギー分野	△	欧州で太陽光発電は伸びたが、リチウムイオン電池は進捗が遅れる
・ライフサイエンス分野	△	欧州医薬関連子会社が苦戦するも、リストラ進み改善へ
3. グローバル経営のインフラ整備・拡充	○	多少の遅れはあるものの、情報システムの整備を中心に進む
4. 将来の成長に向けた投資の実施 (3年間 100億円)	△	金額は想定を上回ったが、更新やシステム投資をかなり含む
5. 資金効率・資産効率の更なる追求	○	ネットD/Eレシオは順調に改善
6. グローバル人財の継続的な育成	△	グローバルスタッフミーティングを定期的に開催 更なるスピードアップが必要

道半ばの課題は、**引き続き新中期経営計画で取り組む**

利益還元の方針

総還元性向 30～35%目安

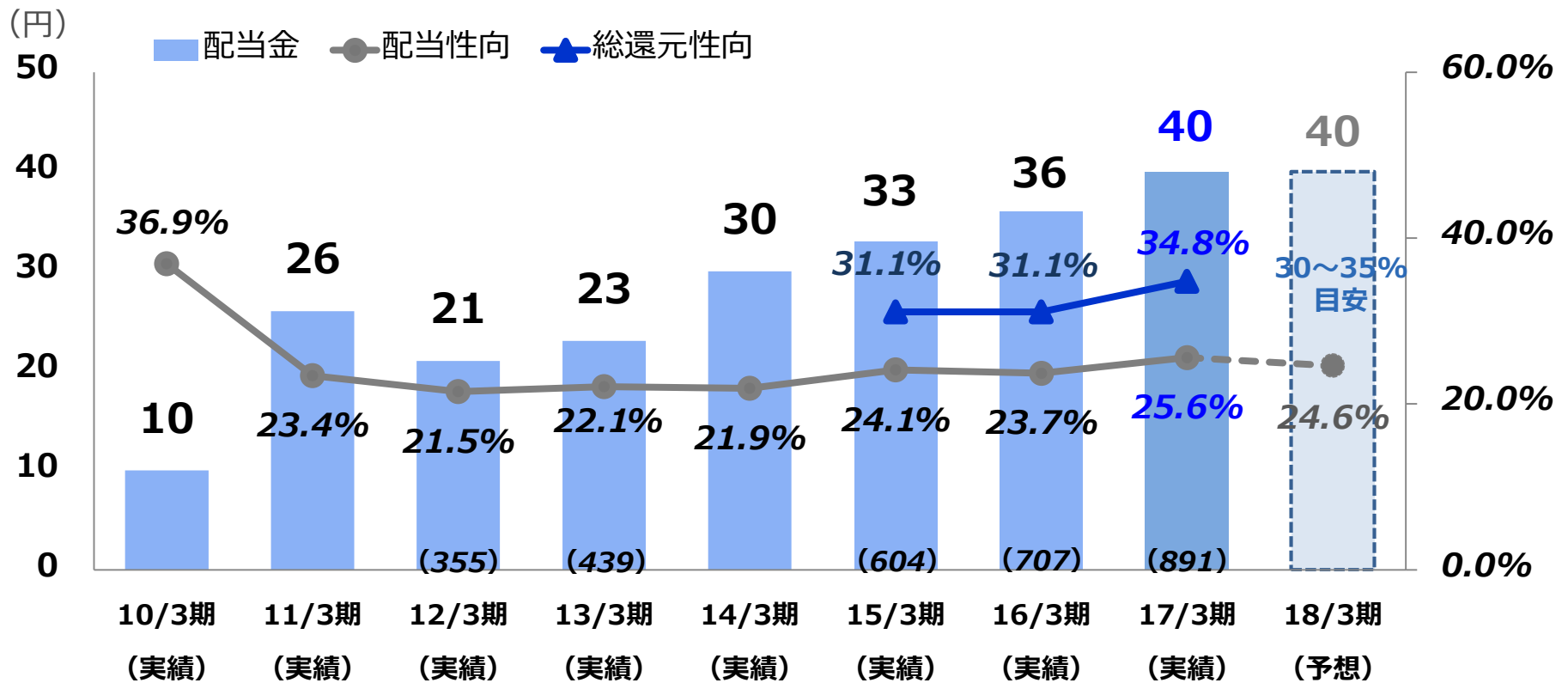
2017年3月期

1株当たり配当金	:	40円
自己株式取得額	:	891百万円
総還元性向	:	34.8%

2018年3月期

1株当たり配当金	:	40円（予想）
----------	---	----------------

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移



※ 棒グラフ下部のカッコ () 内は、期中に実施した自己株式取得額 (百万円)

※ 11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

- 新中期経営計画
「New Challenge 2020」について

◆新中期経営計画策定にあたり、当社が目指す長期ビジョンを策定



◆今後10～15年後（2025～2030年）を念頭に、将来像を想定

機能 : 商社機能を基本としつつも、製造・物流・ファイン等の複合的な機能の一層の高度化を図る

規模感 : 連結売上高 1兆円以上を早期に実現

海外比率 : 70%以上

ポートフォリオ : 情報電子・合成樹脂以外の事業の比率を1/3以上に

新中期経営計画「*New Challenge 2020*」 (略称 *NC 2020*)

【方針】

長期ビジョン「*IK Vision 2030*」達成に向け、
スタートとなる中期経営計画と位置づけ、

「*New Challenge 2016*」で積み残した課題に
取り組むと共に、更にその先を目指す

2021年3月期を最終年度とする4年間の中期経営計画

定量目標	2021年3月期
売上高	7,300億円
営業利益	155億円
経常利益	160億円
親会社に帰属する 純利益	120億円
ネットD/Eレシオ	0.4以下
想定為替レート	USD1=110円

【重点施策】

1 海外事業の更なる拡大と深化

2 成長が見込める市場・未開拓分野への注力

- ・自動車、ライフインス・医療、環境・IT分野へ引き続き注力
- ・食品を含む農業分野への新たな展開

3 グローバルな経営情報インフラの高度化

- ・グループ全体最適の徹底
- ・海外事業のマネジメントの高度化と標準化

4 商社ビジネス拡大に向けた投資の積極化

- ・商社ビジネス拡大を主たる目的としたマイリティ投資の実施
- ・リスク・金額を限定したマジョリティ投資の検討

5 保有資産の継続的な見直しと財務体質の強化

6 グローバル人材マネジメントの確立

事業環境

- ◆液晶関連は中期的に微増、パネル生産は中国へのシフトが続く
- ◆複写機・プリンターは成熟産業だが、産業用に成長の余地あり
- ◆太陽光発電は、日本では期待薄だが、海外で成長が続く

ポートフォリオ方針

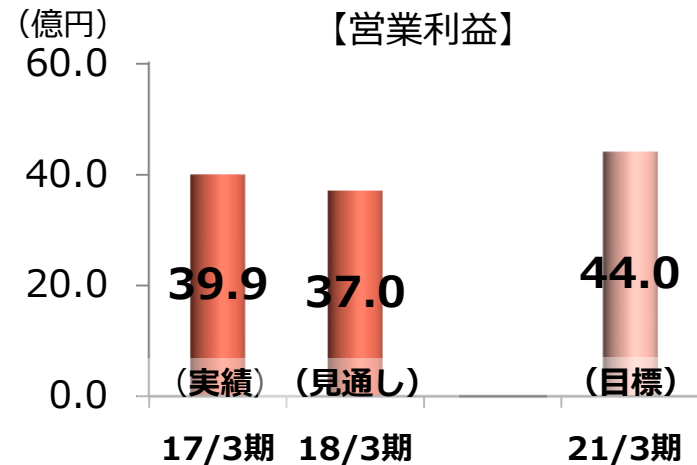
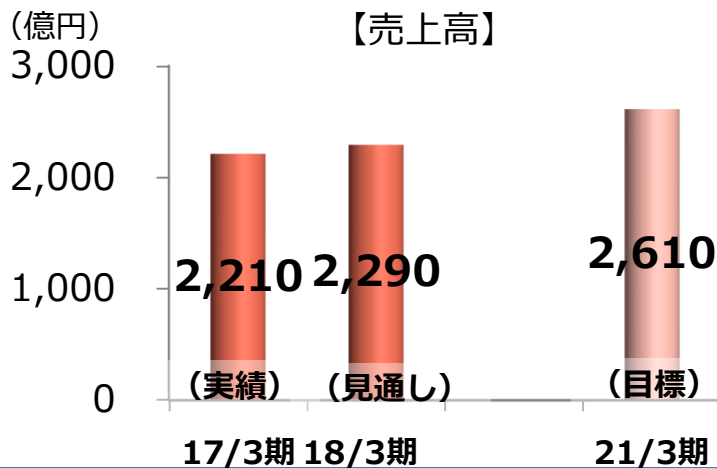
- ◆液晶ビジネスは、中期計画の期間中、引き続き主力事業として収益の維持を図る
- ◆長期的に、現主力事業の成長鈍化も想定して、新規ビジネスの拡大に注力

収益ドライバー

- ◆液晶関連部材
- ◆複写機・プリンター関連部材

成長ドライバー

- ◆太陽光発電・リチウムイオン電池関連
- ◆「創エネ」に加え、「蓄・放・省エネ」ビジネスの展開



事業環境

- ◆国内の既存マーケットは変化が少なく、当社が扱える商材の市場も限定的
- ◆外資系化学メーカーが、日本市場において営業を商社に任せる動きあり

ポートフォリオ方針

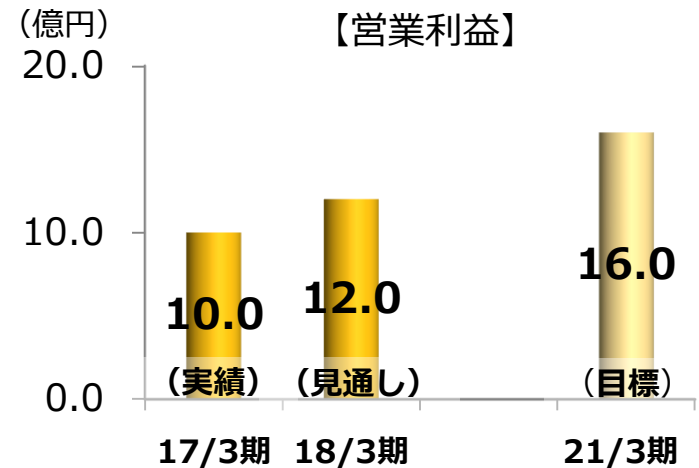
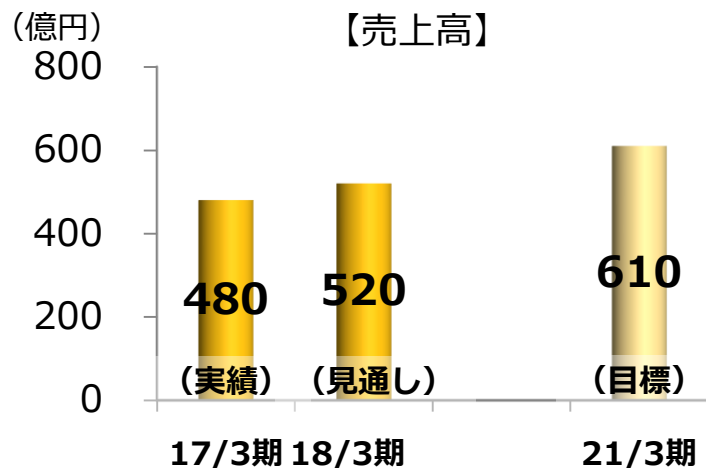
- ◆自動車部品業界の更なる深掘り
- ◆自動車業界をメインとしたコーティングビジネスの拡大
- ◆外資系化学メーカーとの取り組みを強化

収益ドライバー

- ◆自動車部品原材料関連
- ◆コーティング（塗料・インキ）関連

成長ドライバー

- ◆放熱部材関連（ポリマテック社）
- ◆グラスウール入り樹脂等 新規商材



事業環境

- ◆ 医薬は、新薬市場と再生医療が緩やかに成長
- ◆ ホームプロダクツは、国内市場が飽和状況、新興国市場は拡大
- ◆ 食品は、先進国では健康、安全志向へ、新興国では食の消費増進む

ポートフォリオ方針

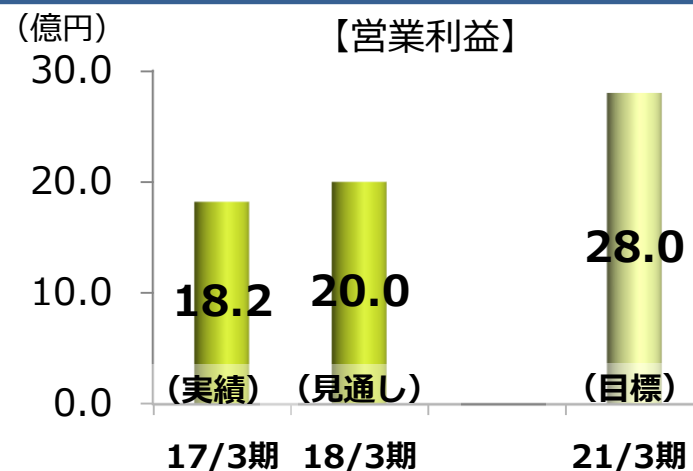
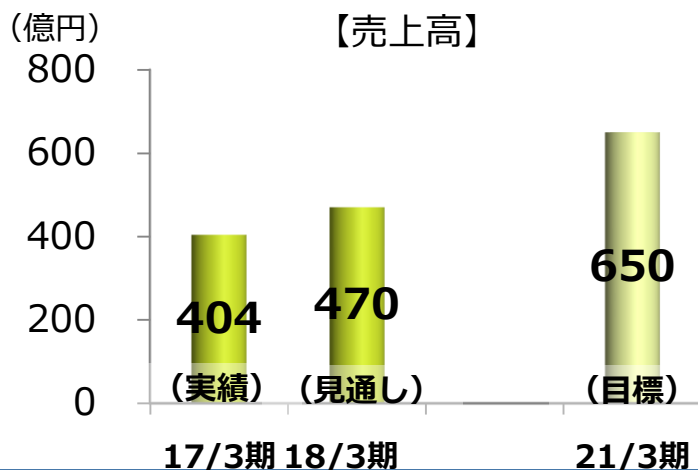
- ◆ 新薬・原料ビジネスは、有望テーマを拡充。先端医療分野に最注力
- ◆ ホームプロダクツ・食品は、海外を含めた市場拡大による売上拡大を図る
- ◆ 食品では、生産者ポジションと加工業への進出を進める

収益ドライバー

- ◆ 医薬原料（新薬）
- ◆ ホームプロダクツ原料

成長ドライバー

- ◆ 再生医療などの先端医療
- ◆ ブルーベリーを中心とした農産品
- ◆ 新たなビジネスモデルの構築（農業、食品加工業）



事業環境

- ◆顧客・サプライヤー共にグローバル化の動きが加速
- ◆グローバル対応が可能な商社への集約化選別が進む

ポートフォリオ方針

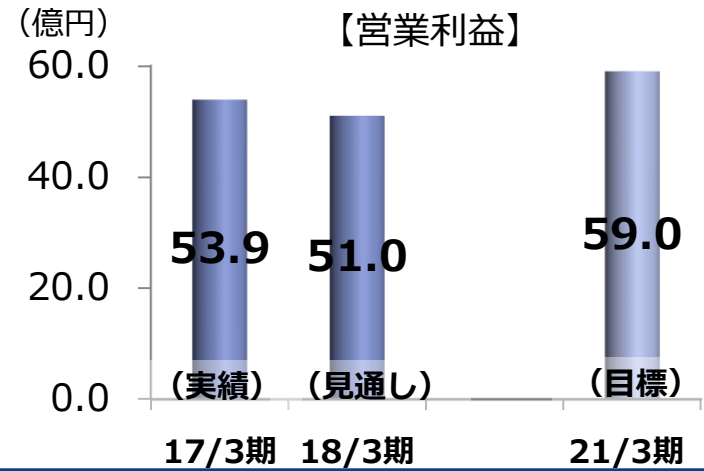
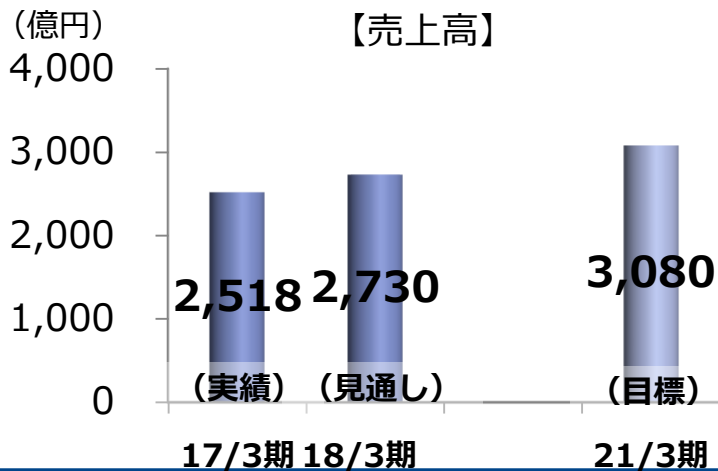
- ◆コンパウンド事業を武器に樹脂の販売を拡大
- ◆自動車分野と特に北米市場に注力

収益ドライバー

- ◆自動車、OA、家電分野向け樹脂
- ◆製造・加工を含むフィルム関連

成長ドライバー

- ◆グローバルユーザーへの販売
- ◆海外事業の更なる拡大（地域・分野）



事業環境

- ◆新設住宅着工件数は減少が続く見通し
- ◆リフォーム市場は拡大
- ◆大手ハウスメーカー、住宅設備機器メーカーの海外進出加速

ポートフォリオ方針

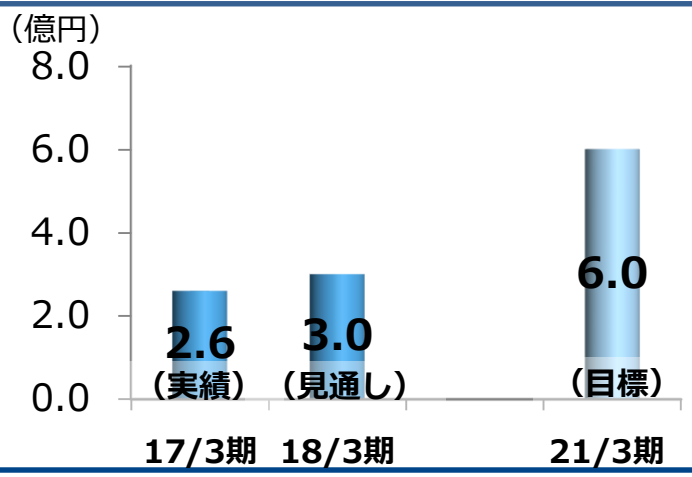
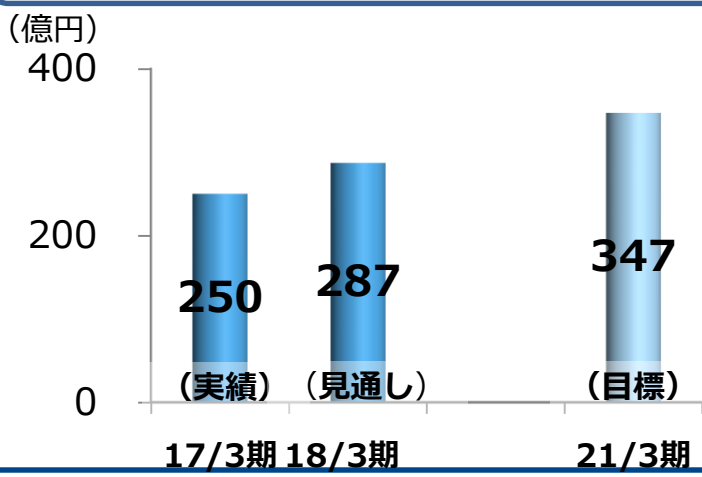
- ◆海外市場への拡販
- ◆非住宅分野へ注力

収益ドライバー

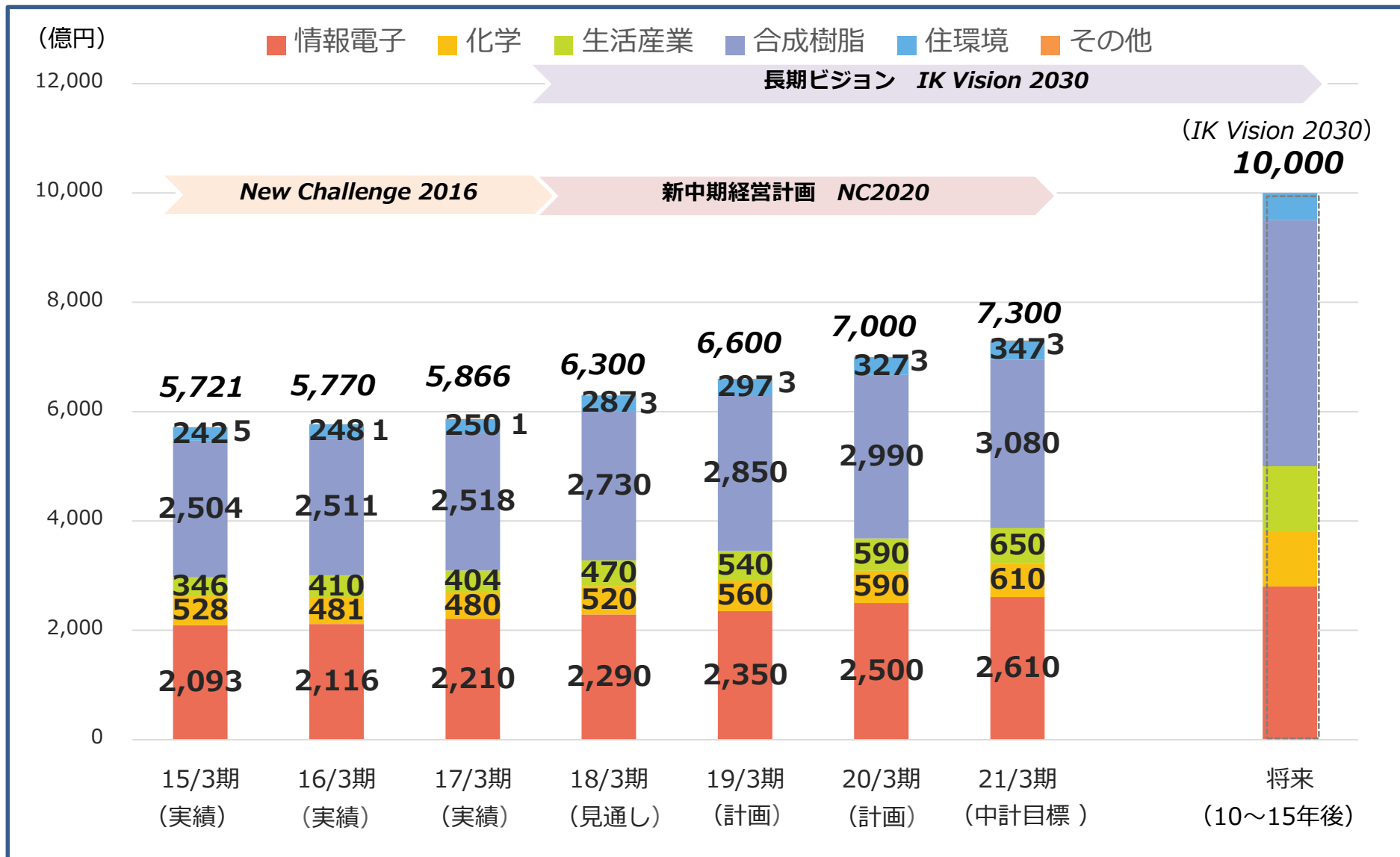
- ◆大手ハウスメーカー、住宅設備機器メーカー向け資材

成長ドライバー

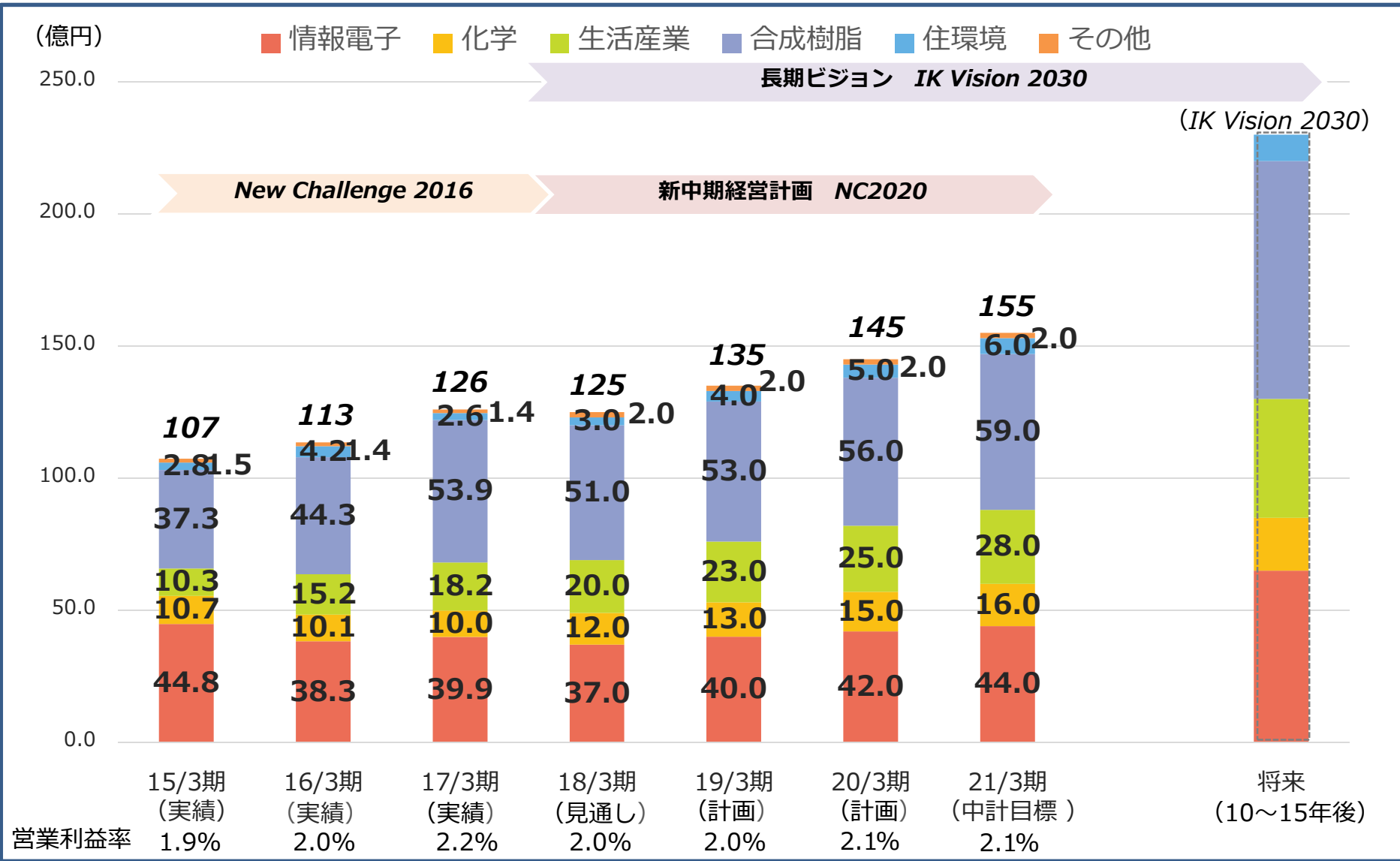
- ◆海外市場（フローリング等）
- ◆非住宅分野（ウレタン原料、チップ等）



NC2020 セグメント別 売上高推移

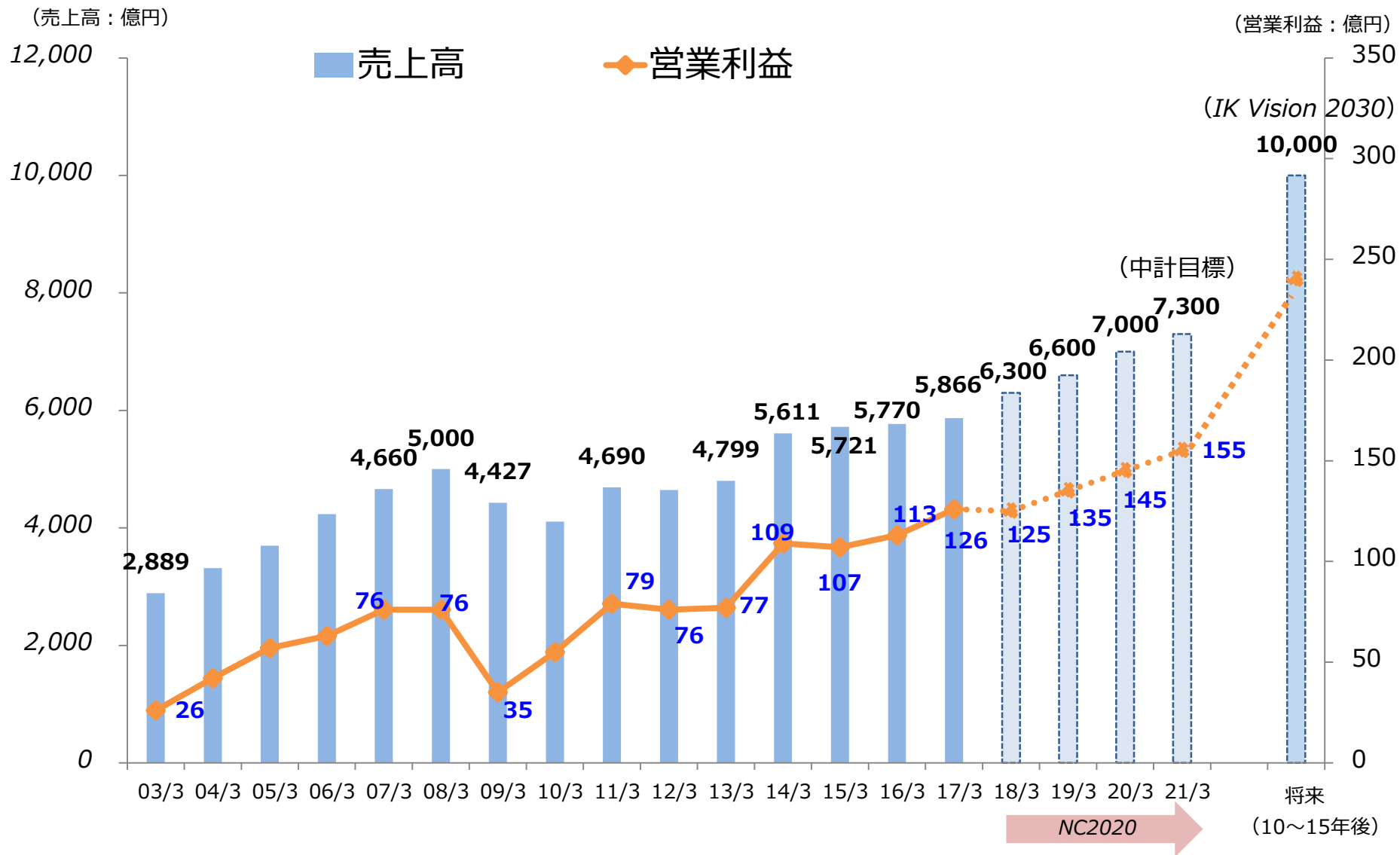


NC2020 セグメント別 営業利益推移



2018年7月2日 17/3期営業利益率修正 (修正前)1.9% → (修正後)2.2%

売上高・営業利益推移（過去15年）



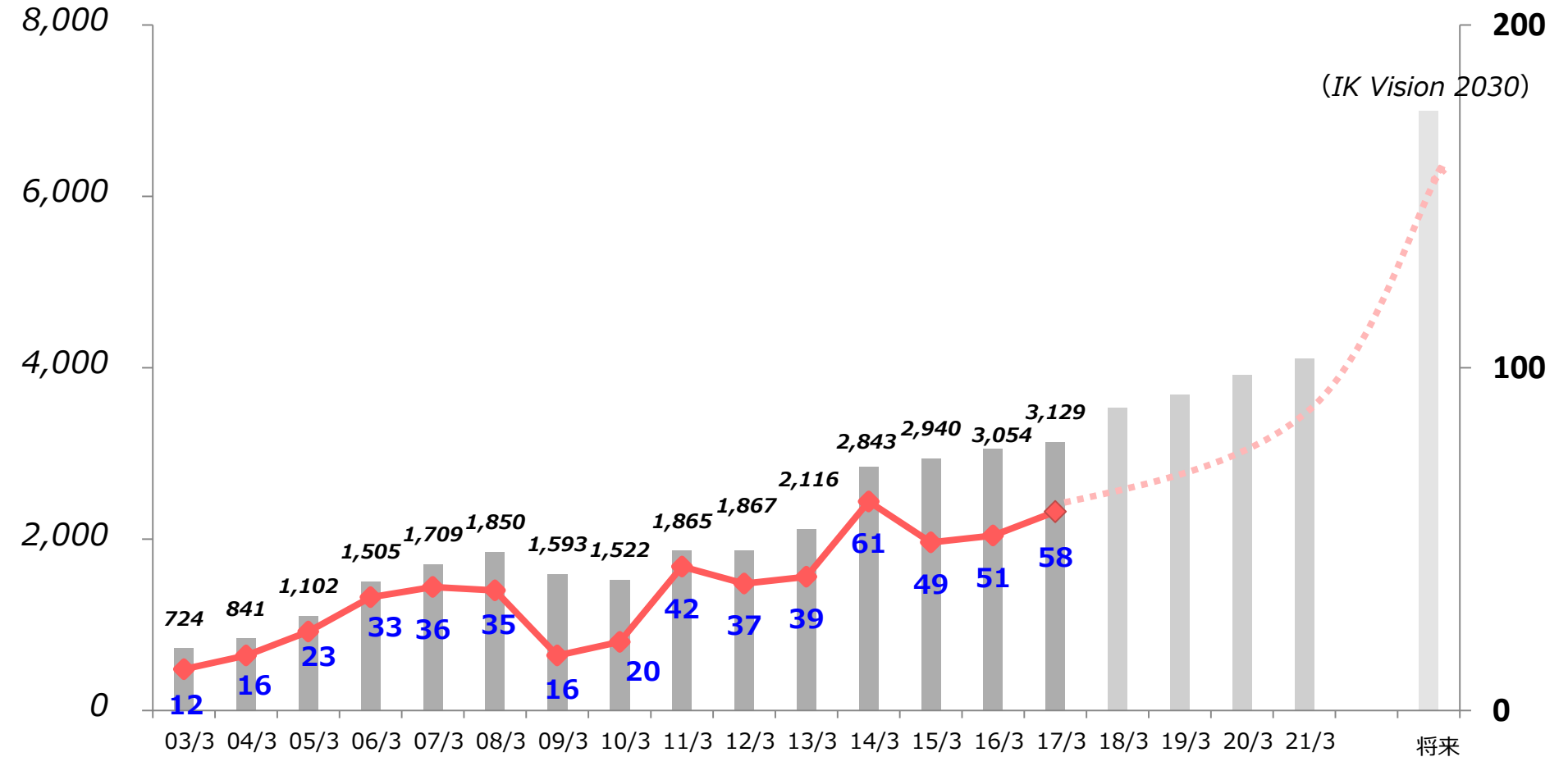
海外の売上高・営業利益推移（過去15年）



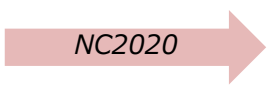
(売上高：億円)

■ 売上高 ◆ 営業利益

(営業利益：億円)



対米ドル円レート 119.9 107.1 104.2 118.0 119.1 114.1 91.0 92.1 81.49 77.74 79.81 100.17 109.76 120.15 108.34



□ I R に関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 I R 企画部
TEL 050-3684-4007 FAX 03-3639-6410
E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。